

## 第3章 計画の基本的な考え方



### 1 基本方針

歯と口腔の適切なケアを行うことは、身体機能の低下を予防することや生活習慣病予防、介護予防につながります。誰もが生涯にわたって自分の歯で食べる喜びや会話する楽しみを維持できるように、歯科疾患や口腔機能の低下を予防する施策をライフステージごとの口腔の特徴や課題に合わせた目標を定めて取り組みます。

### 2 基本となる取組

- むし歯、歯周病などの歯科疾患や口腔機能低下の予防、早期発見・早期治療・重症化予防の必要性について周知します。
- 歯と口腔の健康づくりが、心身の健康や介護予防につながることを周知し、意識の向上及び生活習慣の改善を促します。
- 歯科、口腔機能の維持・向上のための歯科受診体制を整備します。

### 3 ライフステージ別基本目標

妊婦・胎児：マイナス1歳から始まる歯と口の健康づくりとして、妊娠期から胎児と妊婦の歯と口腔の健康づくりに関する意識の向上を図ります。

乳児・幼児：むし歯予防の推進及び将来に向けた丈夫な歯と口腔の形成を促し、歯と口腔の健康づくりの望ましい習慣の定着を図ります。

児童・生徒：むし歯予防を推進し、将来に向けた丈夫な歯と口腔の形成を促し「生涯自分の歯を自分で守る」という健康の意識を育てます。

成人：歯と口腔の健康が心身の健康に関係することやむし歯、歯周病等歯科疾患の予防、歯の喪失防止の重要性を周知し、歯と口腔の健康づくりに対する意識の向上と生活習慣の改善を図ります。

高齢者：オーラルフレイルを防ぎ、歯と口腔の健康づくりが心身の健康づくりにつながることを周知し、意識の向上及び生活習慣の改善を図ります。

要介護（要支援）者、障がい児・者

：歯と口腔内を清潔に保ち、むし歯や歯周病を早期に発見し、治療に結び付けることで、口腔機能を維持・向上し、疾病の発症リスクの低減や要介護状態等の重症化防止を図ります。